Shall We Dance?

ダンスの時間です。

学校の体育の授業でダンスの時間が増えている。2011年度から小学校での学習が本格化、12年度には中学校で必修となった。4月からは高校でも本格的な導入が始まった。学校でダンスといえば体育祭や文化祭後のフォークダンスを思い出す読者が少なくないだろう。ところが現代のダンス授業は大きく様変わりしている。

大会で披露された宗像市立南郷小学校のダンス

学校で必修化進む

中学校では必修科目に

現在、文部科学省の学習指導要領によると小学1、2年生は「表現リズム遊び」、3―6年生は「表現運動」を学ぶ。リズム遊びは題材になりきったりリズムに乗ったりする。表現運動は体を使って表現し、リズムや踊りの特徴をとらえる。

中学では1、2年生で必修科目となった。年間8―10コマ程度（1コマ50分）の授業を受ける。3年生は陸上競技、器械運動、水泳、ダンスから、学校の裁量で選ぶ。それぞれの学校や地域の実情に応じて行う。

高校では、13年4月に入学した現在の1年生から、中学と同様の選択となる。2年生以降は選ぶ幅が広がる。

必修化以前もダンスの授業はあった。ただ、選択制だったので学校で踊った覚えがない人もいる。必修化の目的の一つは、多様な運動を体験すること。中学では武道も必修となった。

中学でのダンスは小学校での学習を受け、より高度なものが求められる。それはイメージをとらえ深めた表現や、伝承されてきた踊り。さらに踊りを通じた交流や発表だ。

学習指導要領によると中学でのダンスは「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の3つ。必修化で注目されたヒップホップダンスは「現代的なリズムのダンス」の一例。

ダンスの評価は総合的。授業を受ける態度、複数で踊る時の協調性、ダンス用語の理解などが問われる。踊りのうまさは一部。

Une Deux…Trois!

個性と協調性育む

授業としてのダンスの良さは、数多く挙げられている。まず能力の優劣が比較的目立たず、参加しやすい。球技の場合、例えば捕球で一定の技術がないと参加自体が難しい場合がある。

一方でダンスは能力に応じた範囲で動けば参加でき、ミスは目立ちにくい。特にヒップホップは自由度が高く、個性が尊重されやすい。運動経験が極端に少ない児童の場合、体力向上のきっかけになると期待する教育関係者もいる。場所や人数を問わず道具がいらないことも取り組みやすさとなる。また自己表現力が豊かになりコミュニケーション能力アップにつながる。一緒に踊ることで協調性が育まれる。

現代の子供は人前で踊るのは恥ずかしいといった感覚はあまりないようだ。それはテレビやインターネットで目にする機会が多いからとみられる。男女を問わず人気アイドルは画面のむこうで踊っている。インターネットに投稿された動画を見て踊りを練習することは珍しくなくなった。

能力の優劣 目立たない

先生もレッスン！

ヒップホップに挑戦

必修化は子どもには抵抗は少ないが、教員は苦労しているかもしれない。ダンスを本格的に学んだ教員や専門とする教員は増えている。とはいえ、ヒップホップダンスなど現代的ダンスに関しては接する機会さえなかった教員は少なくない。

福岡市教育委員会は夏休み期間の8月、中学の教員を対象にダンス研修を行った。特別支援学級の教員を含む35人が80分、プロのインストラクターの指導を受けた。

研修会のテーマは「現代的なリズムのダンス」。教育委員会と、ダンスの普及・振興に取り組んでいる日本ストリートダンス協会（JSDA、東京都港区）が連携した。ダンススクールのエイベックス・アーティストアカデミー福岡校（福岡市中央区）を運営するエイベックス・プランニング&デベロップメント（東京都港区）のインストラクターが講師となり、学校での指導ポイントを教えた。JSDAは他地域でも教員向け研修を実施しているが、教育委員会と連携するのは珍しい。

研修内容は、年間課程を80分に凝縮したもの。体力に配慮して適切に休ませる環境づくりも学ぶ。簡単なステップから徐々に複雑な動きに発展させ、最後はグループで発表するが「大いに盛り上がった」（市教育委員会指導部学校指導課）という。すでに次回の連携話が持ち上がっている。

同アカデミーはプロダンサー育成のイメージが強いが、ダンス未経験の子供が受講できるクラスもある。あいさつに始まるコミュニケーションを重視。親子でハイタッチし喜びを表現する。だれもが子供のころに一度は遊んだであろう「けんけんぱ」をアレンジしたステップなど親しみやすい内容でダンスの楽しさを伝える。福岡校の田中祐介さんによると「ダンスを通じて性格が明るくなったケースがある」という。

教員向けダンス研修。慣れない動きに苦労している先生もいるかもしれない

まずは足元から準備しよう

特別な道具はいらないダンスだが、シューズや衣装に凝るとより楽しめる。スポーツ用品店のスポーツデポマリノアシティ福岡店（福岡市西区）にはヒップホップダンス向けの子ども用ダンスシューズとウエアのコーナーがある（写真）。

シューズは激しい動きに対応するためバスケットシューズのように足首まであるものが主流。横方向への動きに強く、ターンに対応した底のつくりが特徴だ。同店では黒字に金の柄が人気という。

担当の鎌田瞳さんは「成長期ということで大きめを選びがちだが足に合ったものを購入してほしい」と話す。安全第一で選んだ方が良さそう。

一方、服は股上が深いサルエルタイプと呼ばれるパンツが多い。ロゴマークが大きく目立つものが人気で普段着にする人が多い。靴を含め1万円ほどでそろう。女の子は年齢を問わず凝るという。

実際にみてみよう

表彰チームをネットで閲覧

では、福岡県の小中学生は実際にどんなダンスをしているのか。それが見られるインターネットサイトがある。福岡県のホームページ内のキッズコーナーにある「子どもの体力向上広場」。その中の「スポコン広場」にある「みんなでダンス」だ。12年度に応募した小学校72、中学校45チームから表彰された小学校17、中学校17チームのうち、それぞれ7作品を各5分程度で紹介している。

13年2月には福岡県立スポーツ科学情報センター（アクシオン福岡、福岡市博多区）で「『スポコン広場』福岡県大会」が開催された。表彰された最優秀の宗像市立南郷小学校（福岡県宗像市）と古賀市立古賀中学校（同古賀市）のチームがダンスを披露した。

同様の取り組みは13年度も実施する予定で募集を行っている。

ご観劇券好評発売中!

2013年11月、最高のエンターテインメントに再び逢える!

11月4日初日▶12月1日千穐楽

日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼	2:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	貸切	12:00	12:00	12:00	12:00	/	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
夜	/	5:00	貸切	/	5:00	/	/	5:00	/	/	5:00	/	/	貸切	/	5:00	/	5:00	/	5:00	/	/	5:00	/	/	5:00	/	/

■ご観劇料(税込) A席14,000円／特B席10,000円／B席7,000円／C席4,000円

◆博多座電話予約センター
☎092-263-5555
(受付時間：毎日午前10時～午後6時)※日・祝日も受付ています
※電話番号はおかけ間違いのないようお願い致します。

◆インターネット販売
パソコンからhttp://www.hakataza.co.jp/
携帯電話からhttp://www.hakataza.co.jp/keitai/

●ご観劇券は博多座チケット売場、博多座電話予約センターのほか、下記でも扱っております。
ぴあ pia.jp/t　ぴあスポット・セブン・イレブン・サークルK・サンクスでの発売および電話予約。博多座専用ダイヤル092-708-9595または通常ダイヤル0570-02-9999 Pコード426-924
ローソンチケット　ローソン各店での発売および電話予約0570-00-0407(オペレーター対応)または0570-08-4008　Lコード84817
JR九州 西鉄旅行　駅みどりの窓口・JR九州旅行支店での発売および電話予約092-482-1489　各支店／福岡092-741-4952／北九州093-521-1888　筑豊0948-22-5303／久留米0942-33-2233
CNプレイガイド　0570-08-9999(10:00～18:00／オペレーター対応)
e+ イープラス　http://eplus.jp/ およびファミリーマート

「博多座会」新規会員募集中!
お問い合せ
博多座会事務局☎092-263-5870
または博多座HPまで

地下鉄「中洲川端駅」の番出口直結　西鉄バス「川端町・博多座前」下車
博多座
〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1 ☎092(263)5858
協力：ANA・JR九州・Nishitetsu・福岡市地下鉄